

穴吹不動産流通(株)鹿児島店

「市況レポート(2023年10月)」

鹿児島建設新聞より

県工業試験場跡地の利活用 分譲マンションで意見交換

鹿児島中央駅西口地区開発連絡会では、日本郵政グループ鹿児島事務所用地で進む分譲マンション計画についてWeb形式で意見交換が行われました。また、駐車場として利用されている県工業試験場跡地の利活用に向け、望まれる機能や用途等について県が関係団体に意見聴取を行ったそうです。同連絡会は九州旅客鉄道(JR九州)、日本郵政(JP)、県、鹿児島市の4者で構成されています。同跡地(約1万㎡)は三反園訓前知事時代に新総合体育館の候補地となりましたが、駐車場や周辺の交通渋滞が懸念され頓挫となりました。塩田康一知事となり、周辺市道の整備が始まりJR九州では商業施設やオフィス等が入居した「AMU WE(7ミューイー)」が2023年4月に開業されました。分譲マンションのⅡ期は事業主体がJRと日本郵政不動産となっています。今後の鹿児島中央駅西口地区の動向に注目が集まります。

2023年10月 日本銀行鹿児島支店 鹿児島県金融経済概況より

【概要】 鹿児島県の景気は、緩やかに回復している。 すなわち、最終需要面をみると、個人消費は、緩やかに回復している。 観光は、緩やかに回復している。 住宅投資は、弱めの動きとなっている。 公共投資は、増加している。 生産は、弱めの動きとなっている。 企業部門の動向を短観(9月<鹿児島・宮崎両県集計分>)で見ると、設備投資は、増加している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

【各論】 1. 個人消費 百貨店・スーパー販売額は、前年を上回って推移している。 家電販売額は、前年を下回って推移している。 乗用車新車登録台数(含む軽自動車)は、前年を上回って推移している。 2. 観光 主要ホテル・旅館宿泊客数、主要観光施設入場者数とも、前年を上回って推移している。 3. 公共投資 公共工事請負金額は、前年を上回った。 4. 住宅投資 新設住宅着工戸数は、貸家を中心に前年を上回った。 5. 生産 鉱工業生産指数(季節調整済)は、電子部品・デバイス・電気・情報通信機械を中心に前月を上回った。 6. 雇用・所得環境 有効求人倍率(季節調整済)は、低下した。 現金給与総額は、前年を上回った。 常用労働者数は、前年を上回って推移している。 7. 物価 消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、前年を上回って推移している。 8. 金融面 預金、貸出金とも、前年を上回って推移している。 貸出約定平均金利は、前月を下回った。 企業倒産件数は、前年並みとなった。

【まとめ】鹿児島県内におきまして、景気は緩やかに回復傾向となっております。弊社グループ会社におきましては、アルファステイツと次郎シーサイドガーデンに続きアルファステイツ平之町Ⅱセントラルマークも好評分譲中となっております。資料請求やモデルルームへのご案内も可能ですので、弊社までお気軽にお問合せ下さい。